

特長

- ・専用7.2VバッテリーとeHEATグローブを接続するためのケーブルです。
- ・バッテリーポケットのないショートタイプe-HEATグローブを専用バッテリーで使用できます。
- ・付属の結束バンドで取り回しを調整できます。

使用上の注意

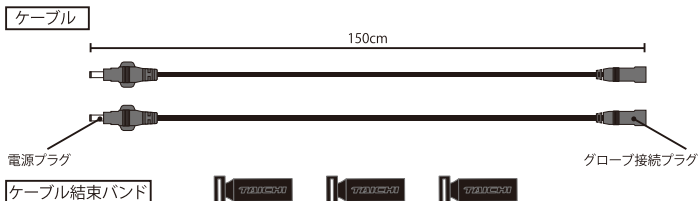
- ・取り出したケーブルが車両のシートやフレームと干渉しないようにしてください。ケーブルの被膜が破損し、発熱、発火、故障の原因となります
- ・使用時のケーブルの長さを調整してください。たるみ過ぎるとタイヤ、マフラーに干渉します。短すぎると乗降時や運転操作の妨げになります。
- ・乗車してからケーブルとジャケット、グローブを接続してください。降車はケーブルを外してから行ってください。
- ・車両を移動させる時、チェーンや車輪へのケーブルの巻き込みに注意してください。
- ・使用時または降車時にケーブルが熱いエンジンやマフラーに接触しないようにしてください。

お手入れのしかた

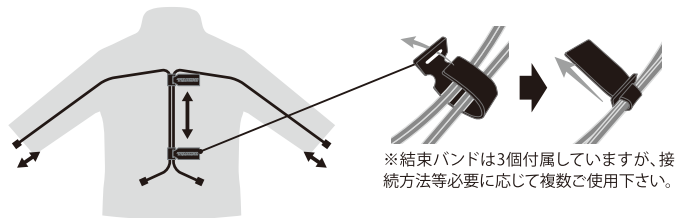
- ・接続する前に本製品の端子をペーパータオルまたは乾いた布でふいてください。
- ・6ヶ月に1回は本製品の端子をペーパータオルまたは乾いた布でふいてください。
- ・本製品の端子内にホコリやゴミが入った場合はエアダスターで掃除してください。

各部の名前

内容物に不足が無いが、作業前にご確認ください。

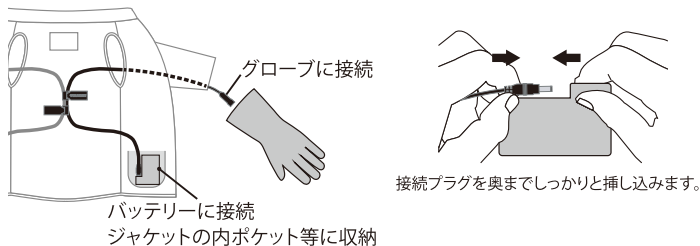


ケーブル結束バンドは取付ける間隔を変えることで、ケーブルの長さを調整する事が出来ます。



バッテリーとの接続

- 1) グローブのカフ(手首部分)内側のポケットにある接続プラグとバッテリーを接続します。



- ⚠️ 接続プラグを同じ方向に何度も回転させたり、プラグの根元やケーブルをつかんで取り外しを繰り返すと断線や故障の原因となりますのでプラグの抜き差しは配線に負担をかけないよう丁寧に行ってください。

プラグの着脱時の注意点

- ⚠️ 必ず接続プラグ本体を持って、着脱してください。誤った使用による破損は保証対象外とさせていただきます。
- プラグ本体をしっかり持つ
- ✗ ケーブル部を引っ張ると、断線・破損の原因になります。
- ⚠️ プラグ、配線に無理な力がかかっていないか確認してください。プラグ着脱時にケーブルをねじったり、折り曲げたりを繰り返すと断線・破損の原因になります。ご使用際に下記のような状態になっていないか確認してください。
- ✗ プラグ根元の配線が捻じれている。
- ✗ プラグ根元の配線が折れ曲がっている。
- ⚠️ 配線やプラグの状態は定期的に確認し、問題が見られた場合、即時使用を中止して下さい。

警告

- 保管、使用中に発熱、変色、亀裂、変形、異臭などの異常がある場合は使用しない

発火、破裂、けがの原因となります。

- お風呂などの温度が高い場所では使用しない

発熱、感電、故障の原因となります。

- 踏みつけたり落下させたりして強い衝撃を与えない

変形して、発熱、発火、感電、故障などの原因となります。

- 可燃物や重いものを載せたり、毛布や座布団で覆ったり包んだりしない

発熱、発火、感電、故障の原因となります。

- 引火、爆発のおそれがある場所では使用しない

爆発や火災の原因となります。

- 濡れた手で使用しない

発熱、感電、故障などの原因となります。

- 取り付けたまま洗車しない

発熱、感電、故障などの原因となります。

- 使用後の接続端子を濡らさない

発熱、感電、故障などの原因となります。

- 本体に金属や鋭利なものを差し込まない

発熱、感電、故障などの原因となります。

- こどもも禁止

こどもや取り扱い方法、危険を十分理解していないものに触れさせない

- 乳幼児の手の届かないところで使用する、保管する

感電やけがの原因となります。

注意

実施

- 操作に入る前に必ず安全を確認した上で操作を行うこと。
- 走行前に各部異常がないか毎回点検を行うこと。
- 異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、ご購入の販売店に相談すること。

- 落下しやすい場所、ほごりの多い場所に置かない

破損すると短絡、感電、故障などの原因となります。

- 無理な力をかけない

変形して、破損、短絡、異常発熱、発火、故障の原因となります。

- 接続ケーブルはポケット内で適切に収めること

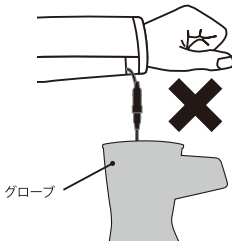
屈曲によりケーブルが破損した結果、短絡、異常発熱、発火、故障の原因となります。

- 各プラグを脱着する際、大きくひねる力を加えずグローブの裾をつかみながらプラグを接続すること

屈曲によりケーブルが破損した結果、短絡、異常発熱、発火、故障の原因となります。

- ケーブルを接続したままグローブをぶら下げない

断線して、破損、短絡、異常発熱、発火、故障の原因となります。



安全上のご注意

安全にご使用いただくために必ずお守りください。

誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を説明しています。



危険

死亡や重傷*1を負うおそれが大きい内容です。



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。



注意

軽傷*2を負うことや、財産の損害*3が発生するおそれがある内容です。

*1重傷とは、失明やけが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを示します。

*2軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電を示します。

*3財産の損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



注意喚起を促す内容があることを告げる図記号です



禁止の行為を告げる図記号です。



行為を強制したり、指示したりする内容を告げる図記号です。



危険



説明書熟読

誤った扱いをすると車両損傷、死亡または失明やけがなど重大な障害に至る原因となります。



分解、改造、修理、折り曲げをしない

発熱、発火、感電、故障、けがの原因となります。



指定の製品以外を接続しない

発熱、発火、感電、故障、けがの原因となります。



水に濡らさない

水、海水、ジュースなどの液体が入ると、内部短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。



ヒューズ、プラグを濡らさない

発熱、感電、故障、発火、けがなどの原因となります。



バッテリーおよび本製品の端子を短絡させない

金属製のネックレスやヘアピン、ボルト、ナット等が触れないようにしてください。短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。



入力と出力を逆に接続しない

短絡して、故障、発熱、発火、けがの原因となります。



高温の場所で保管、使用しない

炎天下の車内、火のそば、ストーブのそば、エンジンやマフラーのそば、直射日光の強い場所など高温になる場所に置かないでください。変形、故障、やけどの原因となります。



接続端子の脱着には端子部分を持ち確実に行う

ケーブル内部の短絡、断線、発熱、発火、けがの原因となります



ケーブルは適切に処理すること

ケーブルの被膜が破損した結果、短絡、発熱、発火、故障の原因となります。